

投信フォーラム2018 in 仙台



上手な資産形成のポイントに耳を傾ける来場者

将来見据えこころごと

特別講演 脳を生涯健康にする最高の習慣とは

幸せな人は長生きする



日本人の平均寿命は2017年、男性が81.09歳、女性は87.26歳と過去最高を更新した。今後も寿命は延び、人々の100歳時代を迎える。健康寿命を伸ばし、元気に暮らすことが大切になる。

要介護は、認知症や脳卒中など、脳に関する疾患が原因でなることが多い。脳の健康を保つことによって、健康寿命を延ばせる可能性がある。

0歳児の脳は視覚や聴覚など、感覚的な領域から発達し、3歳から5歳ごろに運動機能が伸びる。思春期になると、コミュニケーション能力が高くなる。

脳を健康にするには、脳の機能を高めることが大切になる。脳の機能を高めるには、認知症や脳卒中など、脳に関する疾患が原因でなることが多い。脳の健康を保つことによって、健康寿命を延ばせる可能性がある。

0歳児の脳は視覚や聴覚など、感覚的な領域から発達し、3歳から5歳ごろに運動機能が伸びる。思春期になると、コミュニケーション能力が高くなる。

企画・制作/河北新報社営業局

出席者

- ◇パネリスト
 - 東北大加齢医学研究所教授 瀧 靖之氏
 - ニッセイアセットマネジメンツ(株)投資信託企画部室長 ユニケーション 嶋崎 淳氏
 - ジャパン・リート・アドバイザーズ(株)取締役チーフ・フィナンシャル・オフィサー 夏目 憲一氏
- ◇コーディネーター
 - ファイナンシャルプランナー 馬養 雅子氏

パネルディスカッション

馬養 投資信託の魅力とリスクを教えてください。嶋崎 株式投資はほとんどの場合、投資信託は小口で投資できる。どの銘柄に投資したらいいのか、どのタイミングで売買したらいいのかといったことは専門家が全てやってくれる。時間が新聞などで毎日公表されるので、

「つくりませんか 投資信託で積み重ねる自分の未来」をテーマに「投信フォーラム2018 in 仙台」(一般社団法人投資信託協会、河北新報社、全国地方新聞社連合会主催)が7月21日、仙台市青葉区の仙台国際センターで開催された。第1部では、東北大加齢医学研究所の瀧靖之教授が「脳を生涯健康にする最高の習慣とは」と題して特別講演。第2部のパネルディスカッションでは、投資信託の魅力やNISA(少額投資非課税制度)の仕組みに加え、REIT(不動産投資信託)や個人型の確定拠出年金(iDeCo)の選り方購入方法について、専門家が丁寧に説明。会場をぎっしり埋めた市民らが熱心に聞き入った。

少額から投資 専門家が運用

ニーズに合わせて選択

お客さまに貸して家賃を頂く。金利などの費用を差し引いたほぼ全額を半年ごとに投資家に分配する。価格変動リスクはあるが、家賃収入は大きくは動かないので、安定的な分配金が期待できる。分配金回りも高く、定期的な収入を得たい人には魅力的な商品だ。馬養 商品選択のポイントは何ですか。嶋崎 ロールスク・ハイリターンの商品は少ない。



出版者 嶋崎 淳氏 (ニッセイアセットマネジメンツ)

馬養 「資産の何割を投資に回せばいいのかわからない」という質問が寄せられている。嶋崎 NISAとiDeCoでは、税制メリットはiDeCoの方が優れている。馬養 資産運用は特別なことではないが、日常生活の一部であってほしいし、そうあるべきだ。



しまざき・あつし 2004年ニッセイアセットマネジメンツに入社し、マーケティング関連に従事。17年から現職。



なつめ・けんいち 東京銀行(現三菱UFJ銀行)などを経て、2007年ジャパン・リート・アドバイザーズ入社。

定期間の騰落率を確認する。一般的には債券の方が株式に比べてリスクが少なく、海外のものも国内より値動きが大きい。夏目 国内の証券取引所に上場されているREITの銘柄はおおよそ60。株式や一般的な投信に比べれば銘柄選択はかなり容易ではない。馬養 お金をいつ使うの進捗があったら、ライフ

NISA ニーサ。正式名称は少額投資非課税制度。Nippon Individual Savings Accountの略。金融機関に専用の口座を開くと、その口座で購入した株や投資信託で得られた利益(売却益、分配金など)が非課税になる。1年間に120万円まで購入が可能で、非課税期間は5年間。最大600万円を非課税で運用できる。対象商品は株式や株式投資信託、REITなど幅広い。今年1月には少額から長期、積み立て投資ができる「つみたてNISA」もスタートした。年間40万円までの積み立て投資が可能で、非課税期間は20年。対象商品は金融庁が定めたものに限られ、初心者も商品を選びやすい。対象者はいずれも日本に住む20歳以上、19歳以下が利用できる「ジュニアNISA」もある。非課税枠は80万円。原則として運用は親権者が行う。

投資信託 投資家から集めたお金を一つの大きな資金としてまとめて運用する。運用会社が国内、海外の株式や債券などに分散投資。運用成果を投資家それぞれの投資額に応じて分配する。1万円程度の少額で始めることができ、個人では買えない外国株などにも投資できるのが特長。積み立て投資プランなら1000円や500円で購入できる場合もある。運用成果は市場環境などによって変動し、元本が保証されている金融商品ではない。

REIT リート。Real Estate Investment Trustの略。不動産への投資・運用を行う不動産投資法人が、大勢の投資家から集めた資金や金融機関からの借入金でオフィスビルや商業施設、マンションといった複数の不動産を購入し、賃貸収入や転売による売却益を投資家に分配する不動産投資商品。日本国内の証券取引所に上場され、市場で売買できる不動産投資信託を「J-REIT」という。個人では投資がしづらい高価な大型物件への投資が可能になる。

つくりませんか 投資信託で積み重ねる自分の未来

つみたてNISA、2018年スタート!

20年間も非課税メリットが続くのをご存知ですか?

投資信託協会ホームページで もっと詳しく!

- ◆初心者にもわかりやすいコンテンツが充実。
- ◆著名人のインタビューや資産運用を学ぶコラムを収録しています。



スマホでも見られます

無料 ガイドブックプレゼント (各1冊セット)



個人投資家を応援する税制優遇制度「NISA」や「つみたてNISA」についても解説しています。

これから投資をはじめの方、投資信託つみたてBook等も一緒にお送りします。

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会KH係



一般社団法人 投資信託協会 www.toushin.or.jp

投資信託協会

検索